

記録講習会

11日(水)、市高の大会議室で1年生マネ対象の記録講習会が行われました。下の写真で分かっているでしょうか?マネージャー1人に対して1台のパソコンが割り当てられ、映像を観ながら記録入力の練習をするという形でした。



本日皆さんに伝えたいのは、マネージャーが頑張っていた・・・という話ではありません。担当の先生がこの日のためにどのような準備をされているかという話です。担当の前田先生(川口市立高校の先生)は、毎年、夏の全国甲子園大会すべての試合を録画して観るそうです。その上で、今回のような講習会で題材になるようなプレーを編集してこの会に臨むそうです(今回も、昨夏甲子園に出場した叡明高校のプレーが使われていました・・・昨年と同じものではないのです)。

物凄い「準備力」だと思いませんか?

大変失礼な言い方ですが、対象のマネージャーは毎年変わるのですから、何年間か同じ題材を使用していたって問題はないのです。

実はこの日、私は会場(市高の会議室)だけお貸して、グラウンドで行われている自チームの練習に出る予定だったんですが、その講習会の内容に引き込まれてしまい、ほとんどの時間、一緒に講習を受けている・・・という形になってしまいました。

前田先生のその姿勢、見習いたいと思います。

市立浦和高等学校野球部通信

発行者 鈴木 諭

発行日 R8. 2. 18

発行ナンバー 1249号

記録講習会(2)

左と同じ時、同じく埼玉県の常務理事、藁谷先生(県立浦和高校の先生)が始めの挨拶で話されたことも印象に残りました。

スペースないので簡単に・・・

- ① 今夏の大会は第108回大会、野球と108という数字の関係を知っていますか?
- ② 君達1年生マネが3年生になる春(令和9年春)、関東大会が埼玉県で開催されます。それまでに大きく成長して欲しい。
- ③ 現在の「記録」(パソコン入力)というのは、今後ずっとずっと残るものである。その責任と誇りをもってその任務に臨んで欲しい。

同じ役員でありながら、②のことなど全く知らなかった私・・・もう少し、しっかりと勉強したいと思います。

感謝

私事で恐縮ですが、先日、埼玉県のコーチオブザイヤー2025優秀賞という賞をいただきました。



母校のさらなる発展を目指して頑張りたいと思います。引き続きよろしくお願い致します。